

事業実績書

事業名	コミュニティの力で社会の仕組みを変えていく コミュニティ・オーガナイズングをはじめよう	
場所	沼津市 市民文化センター、労政会館他	
期間	2019年 4月15日 ~ 2020年 3月31日	
日程	実施項目・作業項目	
	※ 実施内容、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、スケジュールも併せてわかりやすく記載してください。 イベントや研修会等の行事日程だけでなく、事業期間すべてにわたる実施内容を記入してください。 (打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会など)	
5/28	打ち合わせ	
5/30	打ち合わせ	
6/22	イベント 市民会議を始めよう(自主事業 ブルーシートカフェと共催) / 打合せ	
7/15	コミュニティ・オーガナイズング集中講座 広報ぬまづ募集掲載	
7/17	2019年参議院選挙みんなで話そう(自主事業 静岡) / 会場: 静岡駅 / 打合せ	
7/20	2019年参議院選挙みんなで話そう(自主事業 沼津) / 会場: 仲見世商店街 / 打合せ	
8/31	コミュニティオーガナイズング集中講座 / 講師: 静岡県立大学教授 津富宏氏 / 参加者: 22名 / 会場: 市民文化センター	
9/1		
9/23	雇用なしで生きる現場を見てきたスペイン視察報告会(静岡県立大学研究費) コーディネーター・講師: 静岡県立大学教授 津富宏氏・県大生 / 打合せ	
10/12	コミュニティ・オーガナイズングの実践 台風により順延	
10/26	新しい経済システム社会的連帯経済の実践 / コーディネーター: 静岡県立大学教授 津富宏氏 / 講師: 立教大学教授 藤井敦史氏 / 参加者 10名 / 打合せ	
11/10	SDGsを実現するために 社会的連帯経済が作る新しい社会(静岡県立大学研究費) コーディネーター: 静岡県立大学教授 津富宏氏 / 講師: 明治大学教授 柳澤敏勝氏 / 打合せ	
11/11	まわしよみ新聞をつくろう (ブルーシートカフェと共催 自主事業)	
12/4	私たちの「プラットフォーム」の作り方(静岡県立大学研究費) 韓国のコミュニティ・オーガナイザーと web ミーティング / コーディネーター: 静岡県立大学教授 津富宏氏 / 講師: ソウル市広津区社会的経済ネットワーク執行委員長朴 用洙氏 / モシムとサリム研究企画委員 姜 乃榮氏 / 打合せ / 会場: M103cafe	
12/14	地域アクションの力 コミュニティオーガナイズングで地域をつくる crtp(静岡県立大学研究費) コーディネーター: 静岡県立大学教授 津富宏氏 / 講師 CRTP 研究会 日本福祉大学福祉社会開発研究所准教授 朴 愈美氏 / 名古屋市東区地域福祉活動計画住民ボランティア 明石雅世氏 / 災害ボランティアコーディネーターなごや 椿佳代氏	
1/9	映画「アリ地獄天国」上映会&トークライブ (共催 サポぬま・プレカリアートユニオン 自主事業) 登壇者: 土屋トカチ監督・静岡県立大学教授津富宏氏	
1/18	ゴミから社会を変える持続可能な地域づくりゼロウェスト運動 と新しい沼津方式の提案 (共催ブルーシートカフェ 自主事業))	
2/11	市民の力で地域をつくる ~草の根のミメーシス(感染) (静岡県立大学研究費) コーディネーター: 静岡県立大学教授 津富宏氏 講師 小池達也氏 / 打合せ	
2/20	コミュニティ・オーガナイズング実践編 講師津富宏・仲英雄・稲葉一良 参加者 22名 / 会場: café&gallery Fran / 打合せ /	
2/28	カタルーニャの連帯経済 ZOOMによるオンラインミーティングに参加	
3/2	コロナウイルス感染予防のための休校措置に関するアンケート作成(沼津市ひとり親会と共に) 上記アンケートをFACEBOOK等に掲示	
3/8		
3/30	打合せ	

事業内容

<p>事業効果</p>	<p>※ 事業の効果を記載してください。 ソフト部門のステップアップ型事業・ハード部門4事業については、事業計画書において設定した、成果指標と数値目標による評価を記載してください。 「戦略表」の作成や社会的連帯経済の具体案が作成できることを本年の目標としていたが、台風による講座延期により、連続した講座が開催できず、参加者を再募集して開催したため、事業効果を測ることが出来なかった。 しかしながら、私事ではあるが、労働問題が9月末にあり、CO集中講座に参加していただいた方も一緒に労働運動に参加し、実践をする機会をもて、またCOの実践をSNSなどで可視化することができた。2月に振替で行った実践講座では、労働組合のcoの実践をチャートで共有し、様々な市民活動の場で戦略表を有効活用できることを理解していただいた。</p>
<p>今後の活動予定</p>	<p>市民が作る市民活動センターを立ち上げ、市民シンクタンクを創設することを目指しているが、今後行政のお金に頼らずに、市民が場を拓き主体的な活動を行うために、持続可能な市民社会を形成するための組織化を行い、地域課題を解決するためのローカルファイナンスについてお金の仕組みを考え、困りごとを地域課題として共有する「対話」の手法である円卓会議を行い、市民のプラットフォームを作り、市民の連携を図り、地域経済を回していくことを目指す。今後は、市民や市民団体を繋いで、地域の課題を解決するための仕事づくりなどを行い、ローカルファイナンスを利用した自立した活動を目指す。 定例会議を行う。コロナウイルスの影響もあり、オンラインでの会議も検討中。</p>
<p>自己評価</p>	<p>まちづくりファンド事業と県大研究費、自主事業で、たくさんの学びを多くの方と共有できたが、会の立ち上げに向けた話し合いが、台風の影響もあり変更することとなり、次年度に先延ばしになった。 次年度もコロナウイルスの影響もあり、立ち上げも難しいことが予測されるが、様々な手法を学んでいるので、できるときにできることを少しづつつ行いながら地域づくりを行い、様々な団体に引き続き声を掛けながら、小さな市民活動センターを作ることに希望を繋げたい。 また、社会的連帯経済についての実践が今回は行うことが出来ず、学ぶことだけになってしまったので、来年度、お仕事づくりを行いながら、持続可能な地域経済の仕組みについて活動を行っていきたい。単年度で事業成果を測ることが難しい為、長期的な活動が持続的にできる仕組みも必要だと感じている。</p>

コミュニティオーガナイズング集中講座

2/20 コミュニティ・オーガナイズング実践編

